

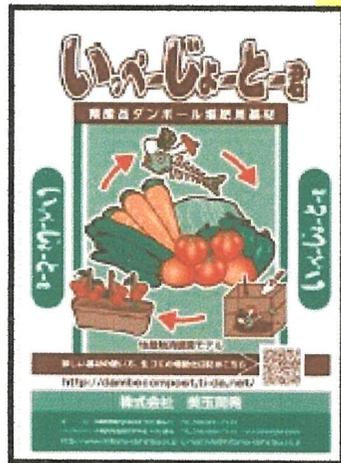
南風原生まれのコンポスト いっぺーじょーと一君

そもそも

コンポストって??

コンポストとは、生ごみを微生物の働きで分解させて堆肥にする処理方法、またはその堆肥のことをいいます。

コンポスト基材『いっぺーじょーと一君』は沖縄の気候に合わせて(株)美玉開発と南風原エコセンターが共同で開発しました。



いっぺーじょーと一君は
においが少ない
コンポスター基材です。

容器はカゴ、プランター、
段ボール、衣装ケースなど
間口が広いものを使います。
混ぜこんだ生ごみの水分が蒸発
できる環境をつくるというのが
ポイントです。



やり方は簡単、
混ぜ込むだけ！
微生物の力で分解します！



スコップは中に入れ、
布をかぶせて
虫が入らないようにします。

入れられるもの・・・野菜や果物の皮や種、肉や魚の骨や皮、コーヒーかすやお茶の出がらし、
ナッツの殻、油(1週間で200ccくらいまで)、卵の殻など。

入れない方がよい物・・・腐ったもの、傷んだもの、カビが生えたもの。中で悪い菌が増えるため。
玉ねぎの皮、爪楊枝や割り箸などもなかなか分解しません。

生ゴミが分解しなくなってきたら(1~3か月後)そのまま土と混ぜて堆肥として
使うことができます。熟成させるとより植物に優しい堆肥になります。

【熟成方法】

約1か月かけて熟成させます。週に1回、500ccの水を入れて混ぜます。
出来上がった堆肥は土と混ぜて使用できます。

いっぺーじょーと一君を使っているお客様の声

燃やすゴミの量が減りました

ゴミ箱の臭いが気にならない
生ゴミを入れたのに臭いがしない

基材がほかほかになり、
微生物を育てているようで楽しい

いつの間にか分解されていて
不思議！